

岐工高サテライトキャンパス2016

9月19日、各務原市の河川環境楽園オアシスパークで、「笠松感幸 岐工高サテライトキャンパス2016」を開催しました。笠松町にある岐阜県立岐阜工業高等学校で専門性の高い技術を学ぶ生徒たちから、「笠松町の温かさ温もりそして幸せを感じることでできる「感幸PR」をしたい」と提案していただき今年で2回目の開催となりました。

会場ではリニアモーターカーの試乗や、オリジナルカレンダー作り、ちょっとしあわせプロジェクト、「道徳のまち笠松」をPRするポスター展示などが行われ、各科の特性を生かしたイベントや作品を高校生自ら解説する姿に、多くの来場者の関心が集まりました。

すべて生徒の手による運営で行われ、笑顔を絶やさず積極的に取り組む温かい雰囲気は、来場された皆さんからも大変好評で、文字どおり幸せを感じあえる「感幸」の一日となりました。

幸せを感じる
かんこう
“感幸”をPR



オリジナルカレンダー作り

文化を楽しむウォーキング



当時を再現する子どもたち

鮎鮨街道inかさまつ

江戸時代、尾張藩は長良川の鵜飼で捕れた鮎を「熟れ鮎」にして将軍に献上しました。

9月22日、その歴史にちなんで、鮎鮨を献上するために通った街道を歩く「鮎鮨街道inかさまつ」が行われました。

福社会館を出発し、高嶋邸（下新町）前では、衣装を着た町内の小中学生が鮎鮨荷を宿次し、当時の様子を再現しました。

ゴールのみなと公園あずまやでは、文化協会会員による手作りのアユ雑炊が参加者の方々に振る舞われました。

健康意識を高めよう



締結式の様子

がん検診等受診率の向上に関する連携協定締結

9月23日、第一生命保険株式会社岐阜支社と「がん検診等受診率の向上に関する連携協定」を締結しました。

この協定は、同社社員が契約者宅を訪問する際、町が実施するがん検診などの事業を掲載したリーフレットを配布し、受診率向上を図るもので、健康づくりの大切さなどを啓発します。